

---

cremation

土管(ハチ)

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

cremation

### 【NZード】

NZ8596T

### 【作者名】 管　ハチ

### 【あらすじ】 死についての詩です。

何か感じるものがあれば幸いです。

曲がりくねった道を  
走つてみた 夜には  
君がトンネルの向こう側で  
待つてるような気がした  
だけ

水膿 肿れた 午前一時  
綺麗な氷 装飾した自然は  
どこか 寂しげな表情を  
空から落ちてくる雪に乗せた

真つ暗な街は

忘れられた場所のよ'

ここはどこなの?

今 それとも未来 過去

まだ

見えない

晴れ渡る空に浮かべた

一厘の花

押さえ込んでた感情が  
あふれ出した その先に  
光と影が 私のことを探つてくれた  
だけど そこから得たものは  
泡となつて消えてしまうようだと

願つたあの日の記憶

大切なものたち

掴み取った流れ星

墮ちてきた場所が悪かつたねと  
優しく微笑みかけてみた偽造<sup>うそ</sup>

まだ

届かない

銀色へと続く架け橋

右手伸ばして

しまい込んでた感情があふれ出したその前に  
思い出せない記憶が縛り付けて話せないの

ここでつなぎとめて私のことを離さないでだけど話して笑つて傍に居てよ

まだ

殻に籠もってる

らしいの

これで終わりなのかな

君と最後に交わした  
言葉

剥がれ落ちてくよつた

日の前で 32倍速

遠い日の 記憶 思い出

全部 全部 燃やしてしまつから

あの日

忘れてきた感情を

今 言葉に出すから

聞いてよ 感じてよ

返事なんかいらないから

ああ だから 安心してね

大丈夫 ここから抜け出せるよ

ごめんね

また 記憶の中で

さよなら

(後書き)

読んでいただきありがとうございました。  
いつかぼーからこどりで曲を作つてみたいですね。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8596t/>

---

cremation

2011年10月8日13時45分発行